

佛地子世宗集

全

911/8

八

全



Handwritten text in seal script, possibly a title or a note, written vertically on the left page of the book.

十二支園

厚子

常務系輝詞

斜^と麻の^三房の^三系^三松^三の^三如^三ふ
そ^と子^の持^らん^の日^れ種^たる^かく
毒^のみ^つわ^る知^ける^あら^ん城^し子
人^の持^たん^た集^めあ^ら珠^の自^ら持^てこ
お^きん^ても^て物^をか^はり^あら^ん海^の東^の
小^の海^の力^のあ^らん^の持^たん^たあ^らん^の毒^の系^の
あ^らん^の持^たん^たあ^らん^の持^たん^たあ^らん^の持^たん^た

るう本町の市美をまんと徳のぼろ
後海好い趣極のたのしみと静か
そ無恥の漢の徳をまるとたのしみ

三浦の徳の
歳と静か
影牆 後 磨

入本所東家 出見後金


又衣

影色
静か

此衣の奇と月とふあをせあはれり
静か
影色
静か

あはれり
静か
影色
静か
わらわられあはれすまひよか

一 此詩等環集の天保四年癸巳月... 初篇之

一 戊午年甲午月... 初篇之

一 乙未年七月より秋... 初篇之

一 乙未年七月より秋... 初篇之

一 乙未年七月より秋... 初篇之

一 乙未年七月より秋... 初篇之

一 乙未年七月より秋... 初篇之

一 乙未年七月より秋... 初篇之

一 乙未年七月より秋... 初篇之

一 乙未年七月より秋... 初篇之

一 乙未年七月より秋... 初篇之

春

立春 初春 試筆 人日 霞 朝霞 鶯 聞鶯 残雪 餘寒

若菜 梅 梅香 春曙 春月 春雨 柳 若艸 扇 初午

花 待花 初花 盛花 花見 落苔 上巳 汐子 雉子 蕨

蛙 桃 欵冬 春田 摘艸 春與 藤 惜春 暮春

夏

首夏 更衣 新樹 牡丹 郭公 月翰 初鯉 橘 菖蒲 端午

夏田 五月 雨夏 艸瞿 麥夏 月夕 立鵜 河水 雞蟬 氷室

夕顏 扇 瓜 川狩 納涼 夏被

秋

立秋 早秋 七夕 星夕 残暑 露 萩 盛萩 女郎花 薄

虫 葦 雁 月雁 秋夜 花火 鹿 秋夕 月 月

野月 浦月 月見 嵐 野分 稻妻 渡鳥 鳴 相撲 重防

菊 搦衣 霧 紅葉 鳶 秋田 茸 狩 晚秋 暮秋

冬

初冬殘菊時雨落葉蘆葦枯野寒艸霜 冬鳥水鳥
冬月冬簷冬田神樂鷹狩炭賣雪 浅雪積雪雪見

炉 早梅待春歲市追儺歲暮

戀

初戀忍、祈、聞、見、待、逢、春、夏、秋、
冬、契、別、偽、喪、頭、稀、隔、増、久、

寄山、寄川、寄家、寄垣、寄井、寄鏡、寄柳、寄衣、寄帶、寄糸、

寄繪、寄筆、寄紙、寄枕、寄扇、

雜

郡里 山家田家古郷池 海路寺 宮松

竹 鷺 鳩 雞 雀 馬 牛 兎 狐 鶴

龜 鳥 獸 魚 餅 酒 琴 笛 鼓 舞

羈旅述懷神祇賀 詠言

俳諧歌芋環集卷之一

春

立春

春風山雪ふわりのおろそけにそよまをるまはふたり 与好

まよそこのわかさうもうしんこまの海やかくのまわし 油 庚吉

世の人のうらむ世もわらふまはつこのうらむやまはらん 数成

空のちり拂つせよままやるとなふと本も人ごとくぬと 虫村

けふより春のそとすくなくまのあつとをそまきけし 宗の園 守りん

今 妙なりんひの美のやのふふらふとえくもむむの様やの宗 宗吉

初春

久この月日のそらもほろこほろこまの梅つぼ 川舟

春の初春も園梅の園のまもふよりゆりてくまはたさるん 縁吉

春とよめわたりてあがりぬるるとのそこのとけくまの人のあらし 水川 脩極

何よりのもよりの花、初夏の柳のふかきくいでの夢、後書

香あふよりの花をささぐりかすうれいしむかひあふり温風

かき藤とてのほごけりていづれもまのつらきまのほごりなり汗

と初夏のふかきささぐりていづれもまのつらきまのほごりなり友記

のねみなりふかきささぐりていづれもまのつらきまのほごりなり干丈

上つ代の空をたかしく初夏の海をほごりてかき藤かき藤飯林

海をささぐりていづれもまのつらきまのほごりなり干菜

のねみなりふかきささぐりていづれもまのつらきまのほごりなり去勢

かき藤とてのほごけりていづれもまのつらきまのほごりなり思

かき藤とてのほごけりていづれもまのつらきまのほごりなり干菜

かき藤とてのほごけりていづれもまのつらきまのほごりなり干菜

非語

若ぬかき藤とてのほごけりていづれもまのつらきまのほごりなり小川

山の嶺の雲のそらうらうらふりていづれもまのつらきまのほごりなり大

雲つれいづれもまのつらきまのほごりなり雲

雲つれいづれもまのつらきまのほごりなり雲

雲つれいづれもまのつらきまのほごりなり雲

雲つれいづれもまのつらきまのほごりなり雲

雲つれいづれもまのつらきまのほごりなり雲

雲つれいづれもまのつらきまのほごりなり雲

雲つれいづれもまのつらきまのほごりなり雲

雲つれいづれもまのつらきまのほごりなり雲

雲つれいづれもまのつらきまのほごりなり雲

枕草

後心まことつのおとあまきく先んどはくふははのちあふ茂水 尾林
 きのふふぬちあまふ小松たれくまきまき日ふたきき折茶淵
 人これのちえりたりたのしき成のりよりいひはるのり茶淵
 て照を休代の基チ等とて女ふまよふまきく茶淵 志舟
 赤の帳のうさむも情等とて初めあまふとあふ茶淵 廣基
 月もさふあまむらうくいのさ初の新うさこの夫の玉ま茶淵 秀旭
 水雲の松とさ初とあまきくもあ初とてまきまきも月茶淵 真隆
 夢まよつた南のふのあつたふくくろくねとまをあめ文章 存隆
 百中をたげたてふりりくさくさくはるまはひくくまうく茶淵 兼盛
 吸りのふまのふいかなくちをたのりまきくさむる花玉の茶淵 雅祥
 赤う月もあまふあまのま初のをはかむさくさうたり茶淵 松久

人日

人の日ふあま初子の飛小物我日のれとのさえ茶淵 茶言
 白くもまきくや時々やまきくまきくくろのりれ情茶淵 祐人
 人の日とまのやいらさるま名情のそりてたてたて之の七茶淵 雅
 言人は揚まんると神茶淵とてあまきくまきの海とくくつる茶淵 兼盛
 ね木のまもふくろく初あひまあまきくまきの工屋のあま茶淵 我玄
 赤留もあまあまもあまにわくたあまきくあまきくあま茶淵 兼盛
 赤とまきくひね情茶淵とてあまきくまきの玉川の甲茶淵 兼盛
 其かきと海もあまきく二の松のまきまきあまきく茶淵 兼盛
 其のまきくあまのまきまきあまきくあまきくあま茶淵 兼盛
 風とてあまのまきまきあまきくあまきくあま茶淵 兼盛
 まきくあまのまきまきあまきくあまきくあま茶淵 兼盛

朝庭

朝庭
 兼盛

うらりぬる日のはたさぬわて世の妻、こいささささささささささ 下仁田 妻

後平はなはな一人のよ来のゆきと袖よりしるる夏屋 収年

その日よしの 原本 志部丸

あつたれ 佐林 知義

たは ま抄 志

お母を死し 五 笑梅

ふこの國の橋より 今 燕子花

ほめ 今 上頼宗

雨土の降 今 古聚

おゆ 大 雪

わの 三 色明

考

さ 考 杉明

考 考 孫聖

考 考 岳恒

考 考 星無

考 考 秀門

考 考 野店

考 考 志文

考 考 松善城

考 考 甲角

考 考 荒後

考 考 久根

考

昔よりあるなる事なまけのえをさきにも有せたり

昔ふま素ふこしらへり圓成すねまぬうこひさの事

つねにねまぬうこひさの事なほの事なほの事なほ

いふにさる月とさるやもくまもさるね箱の事

紫のそへもさるお膝の事なほの物事とそま

古きのお膝の非にさるねね箱も漢もくひと

物事く昔の左の事なほの事なほの事なほ

非の代のみまさるお言松ちひさの事なほの事

幸の愛哉とさるさるさるさるさるさるさる

物事くさるさるさるさるさるさるさるさる

徳を

昔れねとさるさるさるさるさるさるさる

昔れねとさるさるさるさるさるさるさる

昔れねとさるさるさるさるさるさるさる

昔れねとさるさるさるさるさるさるさる

昔れねとさるさるさるさるさるさるさる

昔れねとさるさるさるさるさるさるさる

昔れねとさるさるさるさるさるさるさる

昔れねとさるさるさるさるさるさるさる

昔れねとさるさるさるさるさるさるさる

昔れねとさるさるさるさるさるさるさる

昔れねとさるさるさるさるさるさるさる

昔れねとさるさるさるさるさるさるさる

今

生

子

交

風

箱

好

好

好

好

好

好

好

好

好

好

好

好

好

好

好

好

好

好

好

好

好

好

好

好

好

好

さの味基よんや抄のうん流のゆりさるる風のさむしりや 沼高 佳雅

とええう流の物おさうつうひくまに結ひぬるむかぬさうわ 言打 言

うらうらなまはゆいひまあひひさあひひさあひひさあひひさ 築山 輝

は編つてうらまふまふゆれこもさえうさあめさむか 言打 子枝成

其あひひまふまふまふまふまふまふまふまふまふ 言打 友也

様まらまの終まのうらまのうらまのうらまのうらまのうらま 郷子 言母

まられとまらまらまらまらまらまらまらまらまら 様 繁法西

まらまらまらまらまらまらまらまらまらまらまら 様 菊成

まらまらまらまらまらまらまらまらまらまらまら 様 物梁

まらまらまらまらまらまらまらまらまらまらまら 様 出味

まらまらまらまらまらまらまらまらまらまらまら 様 茶好

梅

このころの梅もさう経て幾度かのさうな又と味さうさう 下社 甚翁

うら梅の梅のさうさう又神さうさうさうさうさうさう 神 猪兄

吹さうり吹さうさうさうさうさうさうさうさうさう 神 廣長

梅さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう 神 友彰

梅さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう 神 魚店

梅さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう 神 後整

梅さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう 神 栗崎

梅さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう 神 松源

梅さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう 神 乙梅

梅さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう 神 浦島丸

梅さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう 神 左風流

梅香

昔の糸の端を圓の梅白ひきつるひふらん 清門

あつちのふらん人ひとあつち梅つとあつちのふらん

梅つとあつちのふらん梅つとあつちのふらん

かつちのふらん梅つとあつちのふらん

あつちのふらん梅つとあつちのふらん

あつちのふらん梅つとあつちのふらん

あつちのふらん梅つとあつちのふらん

あつちのふらん梅つとあつちのふらん

あつちのふらん梅つとあつちのふらん

あつちのふらん梅つとあつちのふらん

あつちのふらん梅つとあつちのふらん

六

あつちのふらん梅つとあつちのふらん

あつちのふらん梅つとあつちのふらん

あつちのふらん梅つとあつちのふらん

あつちのふらん梅つとあつちのふらん

あつちのふらん梅つとあつちのふらん

あつちのふらん梅つとあつちのふらん

あつちのふらん梅つとあつちのふらん

あつちのふらん梅つとあつちのふらん

あつちのふらん梅つとあつちのふらん

あつちのふらん梅つとあつちのふらん

あつちのふらん梅つとあつちのふらん

折

川原...
 如田...
 油...
 自...
 未...
 今...
 張...
 野...
 系...
 如...
 七

若字

卯

天香
 皇宮
 田字
 紫香
 紫葉丸
 字卷
 本木
 投木
 意陵
 巴陵
 生威
 威丸
 儀丸

本...
 丸...
 系...
 邪...
 今...
 美...
 又...
 德...
 德...
 德...
 德...
 千...

初年

歌名
 出高
 其明
 極明
 子交
 結網
 後陸
 靈錄
 非別
 身室
 玉丸
 千...

今
あはれぬとやゆきしきん松高し木はのむまふとよとせむる 花

あつし初年流うらつとせむのさつり籠もねけりし 花

うらつとねく流うらつとせむのさつり籠もねけりし 花

松高し木はのむまふとよとせむる 花

花 一本物

みりしはくしのかげに人の祝のふと松とやまほしん 花

さ年の林はにまほしん 花

山はく流うらつとせむのさつり籠もねけりし 花

うらつとねく流うらつとせむのさつり籠もねけりし 花

あつし初年流うらつとせむのさつり籠もねけりし 花

あつし初年流うらつとせむのさつり籠もねけりし 花

あつし初年流うらつとせむのさつり籠もねけりし 花

あつし初年流うらつとせむのさつり籠もねけりし 花

あつし初年流うらつとせむのさつり籠もねけりし 花

あつし初年流うらつとせむのさつり籠もねけりし 花

あつし初年流うらつとせむのさつり籠もねけりし 花

あつし初年流うらつとせむのさつり籠もねけりし 花

あつし初年流うらつとせむのさつり籠もねけりし 花

あつし初年流うらつとせむのさつり籠もねけりし 花

あつし初年流うらつとせむのさつり籠もねけりし 花

あつし初年流うらつとせむのさつり籠もねけりし 花

あつし初年流うらつとせむのさつり籠もねけりし 花

夢見

あつたて寝てふりつゝ夢のあつたむらや時をさへ
今

昔に寝てふりつゝ夢のあつたむらや時をさへ
今

夢の箱の打りきり
二葉

夢の箱の打りきり
二葉

夢の箱の打りきり
二葉

夢の箱の打りきり
二葉

夢の箱の打りきり
二葉

夢の箱の打りきり
二葉

夢の箱の打りきり
二葉

夢の箱の打りきり
二葉

落花

あつたて寝てふりつゝ夢のあつたむらや時をさへ
今

あつたて寝てふりつゝ夢のあつたむらや時をさへ
今

あつたて寝てふりつゝ夢のあつたむらや時をさへ
今

あつたて寝てふりつゝ夢のあつたむらや時をさへ
今

あつたて寝てふりつゝ夢のあつたむらや時をさへ
今

あつたて寝てふりつゝ夢のあつたむらや時をさへ
今

あつたて寝てふりつゝ夢のあつたむらや時をさへ
今

あつたて寝てふりつゝ夢のあつたむらや時をさへ
今

あつたて寝てふりつゝ夢のあつたむらや時をさへ
今

あつたて寝てふりつゝ夢のあつたむらや時をさへ
今

あつたて寝てふりつゝ夢のあつたむらや時をさへ
今

上巳

あつたて寝てふりつゝ夢のあつたむらや時をさへ
今

あつたて寝てふりつゝ夢のあつたむらや時をさへ
今

あつたて寝てふりつゝ夢のあつたむらや時をさへ
今

あつたて寝てふりつゝ夢のあつたむらや時をさへ
今

あつたて寝てふりつゝ夢のあつたむらや時をさへ
今

あつたて寝てふりつゝ夢のあつたむらや時をさへ
今

あつたて寝てふりつゝ夢のあつたむらや時をさへ
今

はなはちとせしりしつゝあふあふあ田んたふとあふあん 名 魚店

飛ぶ鳥渡つたふらふらま風はくつら柳の巾着ひく 名 二條橋

岸せりの空をうらやまふらふらあふのまふらふらふらふら 名 別

まきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき 名 侍人

よつ代とまのひやとまのひやとまのひやとまのひや 名 商人

はやくてきれたまきまきまきまきまきまきまき 名 子丸

まきまきまきまきまきまきまきまきまきまき 名 真乃

まきまきまきまきまきまきまきまきまきまき 名 龍生

まきの田のまきまきまきまきまきまきまき 名 二葉

あつゝ子の昔志のひやまきまきまきまきまき 名 龍見

よむまきまきまきまきまきまきまきまきまき 名 後日侍

怪

桃

山吹のまきまきまきまきまきまきまきまき 名 金堂

まきまきまきまきまきまきまきまきまき 名 彦保

おんとまきまきまきまきまきまきまきまき 名 後豊

まきまきまきまきまきまきまきまきまき 名 後丸

山吹のまきまきまきまきまきまきまきまき 名 川赤

まきまきまきまきまきまきまきまきまき 名 後丸

まきまきまきまきまきまきまきまきまき 名 後丸

まきまきまきまきまきまきまきまきまき 名 後丸

まきまきまきまきまきまきまきまきまき 名 後丸

まきまきまきまきまきまきまきまきまき 名 後丸

まきまきまきまきまきまきまきまきまき 名 後丸

春田

歌

今

山吹のまきまきまきまきまきまきまきまき 名 後丸

惜春

今

わさねと志の枝まろくに露るるのむねゆる後の江の如
 散るものさふりゆとまはらふくねるんまをさうとめい
 らくさたろくくとおさちちとやいつうさるのさねり
 ゆるさるうとまをと備ようよと清きまのまをゆまん
 りまをさうとあま心ゆく教ふ月日何とぞか雪の如く
 ね浦山おれずはまことろ梅もろよはれりまをさうとむら
 せうたまをさるれりりゆのさまの川の瀬をたれやまを
 とまぬまをとほれまをたまをまのまをたれ
 ねとまぬまをとほれまをたまをまのまをたれ
 ちのさるおとろふまの日のまをさうと好きにむらとろく
 いとまぬまをさうとあま今まをさうとゆねまをさうとまのまのまを
 りまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを
 んまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを
 まをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを
 中くふさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを
 百明まをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを
 とまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを
 後唐のまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを
 とまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを
 後のまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを
 のまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを
 茶とまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを
 まをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを

春

今

りまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを
 んまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを
 まをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを
 中くふさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを
 百明まをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを
 とまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを
 後唐のまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを
 とまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを
 後のまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを
 のまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを
 茶とまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを
 まをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを

茶とまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを
 まをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまをさうとまを

後唐
 清

俳諧歌苧環集卷之二

夏

首夏

おのやうにちとるん日新まきまき葉をたれよまふあまーたり

下化四 楓山奈

幸ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

救成

ちんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちん

平隆

かきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかきかき

龍虎

ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

千友

とりのたのむも名跡の院子坂のむつとふふふふふふふふふ

千丈

古くはにききをかきりりまの院あふふふふふふふふふふふ

亦村

風いふ操あらうふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

後年

まきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまきまき

後年

今

おのやうにちとるん日新まきまき葉をたれよまふあまーたり

千侯

おのやうにちとるん日新まきまき葉をたれよまふあまーたり

千侯

おのやうにちとるん日新まきまき葉をたれよまふあまーたり

秋子

おのやうにちとるん日新まきまき葉をたれよまふあまーたり

後年

おのやうにちとるん日新まきまき葉をたれよまふあまーたり

魚

おのやうにちとるん日新まきまき葉をたれよまふあまーたり

魚

おのやうにちとるん日新まきまき葉をたれよまふあまーたり

千丈

おのやうにちとるん日新まきまき葉をたれよまふあまーたり

千丈

おのやうにちとるん日新まきまき葉をたれよまふあまーたり

千丈

おのやうにちとるん日新まきまき葉をたれよまふあまーたり

千丈

おのやうにちとるん日新まきまき葉をたれよまふあまーたり

千丈

牡丹

新樹

更衣

三日月のとうや奈入弁の雲の城極の山ほとよき次 年保

照つる月と輝ぬ草のちよとまきと雲のけりかしの山 丘人

ほつたはかたきとちよとまきと照月のあつていふえぬ雲の一勢 志雄

月とよの夢や志とる時を味つるか足るるゆきとや 立新

影さうさめ流るる夢さうさうん月の海舟の山ほとよき次 群字

雲とやまきとちよとまきと照月のあつていふえぬ雲の一勢 一春

可憐の月とちよとまきと照月のあつていふえぬ雲の一勢 綾香

月のあまきのうらふとちよとまきと照月のあつていふえぬ雲の一勢 碧多成

あまの月のあつていふえぬ雲の一勢と照月のあつていふえぬ雲の一勢 千枝成

夢とちよとまきと照月のあつていふえぬ雲の一勢と照月のあつていふえぬ雲の一勢 ね雪

二夢とちよとまきと照月のあつていふえぬ雲の一勢と照月のあつていふえぬ雲の一勢 照起

ほつたはかたきとちよとまきと照月のあつていふえぬ雲の一勢 秋芳

ほつたはかたきとちよとまきと照月のあつていふえぬ雲の一勢 志雄

ほつたはかたきとちよとまきと照月のあつていふえぬ雲の一勢 立新

ほつたはかたきとちよとまきと照月のあつていふえぬ雲の一勢 一春

ほつたはかたきとちよとまきと照月のあつていふえぬ雲の一勢 綾香

ほつたはかたきとちよとまきと照月のあつていふえぬ雲の一勢 碧多成

ほつたはかたきとちよとまきと照月のあつていふえぬ雲の一勢 ね雪

ほつたはかたきとちよとまきと照月のあつていふえぬ雲の一勢 照起

ほつたはかたきとちよとまきと照月のあつていふえぬ雲の一勢 秋芳

ほつたはかたきとちよとまきと照月のあつていふえぬ雲の一勢 志雄

ほつたはかたきとちよとまきと照月のあつていふえぬ雲の一勢 立新

初観

初観の初めは佳の春何れを思ふか 志雄
五川の初めは佳の春何れを思ふか 立新
お月よお月よお月よお月よお月よお月よ 綾香
お月よお月よお月よお月よお月よお月よ 碧多成
お月よお月よお月よお月よお月よお月よ ね雪
お月よお月よお月よお月よお月よお月よ 照起

そら舞臺一まほしうてくらん柱のまゝのとりよ志すーうら
百やれせ皆申者まうううう可免海一の志と名のうーらに 七日市 芝

ほれぬのいまめ志まこころ難けりれぬのまぬのこころぬ 後日代

うまうてまよよう後のまろ難仰うまふん江戶のむささ 孝聖 喜正

まううてうまうて初難いそめまうてぬうううう 言見

今 元振のまの経いよまうてんまめかーらの初志海ー志 藤城

ほろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろろ 下藤

福のうう志のうの福まうてむうー男の昔もこころ 千候

まとはまお福のいらまうてまもほろろまの海うう 穂也

朝ふうう秀のりやりの孝格あまむ秋のう舞とを 解子

たれううまうてまはううろろろろろろろろろろろ 豆恵丸

菅

福

今

まの目とつとと持 世の人のんまひくへらあまうう 本藤

うあまううううううううううううううううう 梅明

まうううううううううううううううううう 千春

さう福福福福福人もまなれと我うううううう 後日代

福あまううのひまーにまうてまうてまうて 珠人

まうてまうてまうてまうてまうてまうて 廣茶

まうてまうてまうてまうてまうてまうて 舎

初のうう福うううううううううううう 美好

まうてまうてまうてまうてまうてまうて 長居

まうてまうてまうてまうてまうてまうて 千頼

まの目の目うううううううううううう 山南

菅

夏田

持しれ 娘もまゝにし所の田舎の村とぬり申す

新河のあををうゝ娘をのかつゝり子孫とてうゝまふ女 小娘 継成

世まゝのまふか後の川をせりてをいひてうゝ 古 後豊

はしりやいそゝまふおねをうゝ持しれ 又 可笑

おあゝうゝまふおあふ若草のまふもくろく 又 三子丸

夏の日のあつとてくろく 又 後隆

掛のまふまゝのまゝ 又 友歌

よの山女のまゝ 又 緑彦

うひをたむ 又 廣草

やう 又 三権橋

夏

夏 又 三権橋

種のを 又 廣草

ま 又 友歌

春 又 二葉

暖 又 夏

お 又 全

は 又 唐

ふ 又 穂成

舞 又 全

そ 又 教

高 又 星

一 又 表

瞿麥

よゆくよと海とまきんたりたうひようねの麻布川のむ 仙巻 後美

敷りぬて野うーんさううーんさううーんさううーんさう 後本 則太

敷きのへまひまへれともさそまへへへまひまへまへへま 活字 廣志

二葉よう招木の神のむらへりまへか茂のうらへまへ 心 心

お女子うらうらあひんさうまへまへおの袖うらまへまへ 活字 後枝

夕雲とお木の乳まへまへまへまへまへまへまへまへ 活字 丹波

まへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへ 活字 夢見

まへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへ 活字 夢見

まへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへ 活字 夢見

まへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへ 活字 夢見

まへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへ 活字 夢見

精河

夏月

かたせー留迄のゆれおのぬれぬれあをむらへりる夕立 二葉

舞せとさうへんおねの海まへれとやあうううい男 活字 精唐

喉まらうたうらうら家のおのまへまへまへまへまへ 活字 苦言

後のせりむらまへまへまへまへまへまへまへまへ 活字 志

お川の精まへ男のぬれぬれおのぬれぬれとさううん 活字 後枝

精まへひの月の精まへおのぬれぬれおのぬれぬれおのぬ 活字 夷岐

よりの川まへお空まへまへまへまへまへまへまへまへ 活字 唐新

ん根れぬれぬれおの情ゆらへ月のおとまへ精まへ男まへ 活字 千束

とん息まへまへまへまへまへまへまへまへまへまへ 活字 志

おねまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへ 活字 志

おんまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへまへ 活字 志

今

猪飼男は川に釣つた魚を小籠に詰めてお返しと云ふこと
鎌倉

けこぬ川に釣つた魚を小籠に詰めてお返しと云ふこと
鎌倉

よりの川に釣つた魚を小籠に詰めてお返しと云ふこと
鎌倉

魚市のふもとに釣つた魚を小籠に詰めてお返しと云ふこと
鎌倉

あつた魚を小籠に詰めてお返しと云ふこと
鎌倉

よりの川に釣つた魚を小籠に詰めてお返しと云ふこと
鎌倉

魚を小籠に詰めてお返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

俳

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

水鏡

今

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

氷室

夕顔

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

お返しと云ふこと
鎌倉

於龍の雲をふまきてくわうぬといひそめんゆう海のや 節薩

夕顔のけはしまつたてく飛つのはまむたうそくせ嘆えたり 廣石

さそくねんらん一はらうの波をさそく死海をめまゆりし 美佐

控うねんうまうそくあししと死ぬみ涼一と海をまわく二海の 俊豊

梅子のむぎまうらとせまら一海をいそめくそまゆりたり 滋見

つうさひ神ふかたうら海をくそかたう海にくひて 全

いふとねたてめれとありのち海をのめりささうとらひあやう 全

三保海のちら海をく画きかんさあそく秋のそめりうのひ 小川

今 寄つらう寄わひの海へん海をく月のかつらうまら 全

今 武士のあひとこをたてとあかふるは代もゆまの月正一と 兼成

今 富士の麓にぬらふ海のはらう一はらうとあそく海をのめりぬ海 衣丸

ねそのつゆせしんをそく海をのめりの中やうつゆせまらなり 多

かそそくの丘とのふそく海へん海をくたさうものとそく海をのめり 統

今 寄られぬさくひかうそく海の丘を海へん海をくそく海をのめり 市人

人のかと森りまきく海をく一丘を海へん海をくうらまらうとわく 瑞文

海をく海をく海をく海をく海をく海をく海をく海をく海をく 甚

と統のめまきく海へん海をく海をく海をく海をく海をく海をく 水

水をく海をく海をく二人く海をく海をく海をく海をく海をく 行人

るあう川をく海をく海をく海をく海をく海をく海をく海をく 甚

まら 湖にいのうたまる折葉のとせうりもまきまの枝川 後

松浦川越へ逃く押つらひむらる急の化く石くれ 甚

今 いろくついろくもく海をく海をく海をく海をく海をく海をく海をく 坂

納涼

水たつ川原をうぐさ糖とまきまむるたねも有る

ほのむらの岸ありあつて露風の忘のしくお味もさくし

まきまむるたねのまきまむるたねのまきまむるたね

夕風も扇もなまきまむるたねのまきまむるたね

木蔭より涼をせんとくたなまきまむるたね

沼柳も月影もなまきまむるたねのまきまむるたね

鴨川の水もなまきまむるたねのまきまむるたね

名りしあつちとまきまむるたねのまきまむるたね

船より見捨のうくとまきまむるたねのまきまむるたね

あつちとまきまむるたねのまきまむるたね

あつちとまきまむるたねのまきまむるたね

この園のあつちとまきまむるたねのまきまむるたね

秋風のあつちとまきまむるたねのまきまむるたね

あつちとまきまむるたねのまきまむるたね

柳のあつちとまきまむるたねのまきまむるたね

あつちとまきまむるたねのまきまむるたね

あつちとまきまむるたねのまきまむるたね

あつちとまきまむるたねのまきまむるたね

あつちとまきまむるたねのまきまむるたね

あつちとまきまむるたねのまきまむるたね

あつちとまきまむるたねのまきまむるたね

あつちとまきまむるたねのまきまむるたね

笠原

舟

若

若

友

千

義

後

珠

一

形

色

酒

毒

後

秋

生

衣

廣

初

衣

衣

丸

名取川のそよぐ風はなつきの思ふを涼のころに木

柱の木のそよぐ風は涼しむまに捨たせよ袖もろね

水名のかさうは東の夕まをいつのぬあふまをせ

腐より我と忘れゆまはあまをわしやうのこ

我のいとせぬ川ひをまをよするなれはのこを

こをた月まを九海もさう月あまの思ふはのこもは

はせしのこをわが風をたはるまをうひまを

まをた川中流はあまをたはるまをたのこま

はつりの思ふのまをたはるまをたはるま

思ふは冠を浦の遠川をうまのこをたはるま

仙臺

岩

菅子

和衣

川

教城

志願

松林

岩

持魚

俳諧歌亭環集卷之三

秋

五秋

今

今秋秋のそよぐ風はなつきの思ふを涼のころに木

柱の木のそよぐ風は涼しむまに捨たせよ袖もろね

水名のかさうは東の夕まをいつのぬあふまをせ

腐より我と忘れゆまはあまをわしやうのこ

我のいとせぬ川ひをまをよするなれはのこを

こをた月まを九海もさう月あまの思ふはのこもは

はせしのこをわが風をたはるまをうひまを

まをた川中流はあまをたはるまをたのこま

はつりの思ふのまをたはるまをたはるま

持魚

岩

松林

岩

持魚

岩

持魚

岩

持魚

岩

持魚

早秋

早秋秋のそよぐ風はなつきの思ふを涼のころに木

持魚

岩

ての川草のつむぎもゆき夜らふ人のもたかまのたし
糖のはらひもそのまじりけしはしと星也わりのん 岐年 糖店

ゆきとそとのふ華芳とていふはまてあふしとかれ織非 下仁四 栗箱

紅のふらりのまののむけ葉のむらの物とてあは合 後月終

か—小袖ゆきの厚のこころまきぬいひは—合の元 杉山 舟結

つれ後の袖まのまきとつうの母もたふはるあ—は也 古紀

この川も竹料のゆきふとあつ—袖ぬ—はらん 茶茶茶

る—のゆきのあはちうひ—林のゆきぬ—は袖ぬ 千央

みゆ—あつ—はつうの星はつわつとま—番のゆきぬ—は 十目 産也

こころまの織のまゆゆりつからん—とてあつ—は 振成

まゆゆりつからん—とてあつ—は 振成

もまきとつうのゆきのあはちうひ—とてあつ—は 菓好

大まゆのゆきとあつ—はつうのゆきのあはちうひ—とてあつ—は 天 志也

まゆゆりつからん—とてあつ—は 茶茶茶

まゆゆりつからん—とてあつ—は 岐年 七福

もまきとつうのゆきのあはちうひ—とてあつ—は 物梁

もまきとつうのゆきのあはちうひ—とてあつ—は 蜀成

もまきとつうのゆきのあはちうひ—とてあつ—は 岐年 滋見

もまきとつうのゆきのあはちうひ—とてあつ—は 久根

もまきとつうのゆきのあはちうひ—とてあつ—は 名茶 茶也

もまきとつうのゆきのあはちうひ—とてあつ—は 千歳

もまきとつうのゆきのあはちうひ—とてあつ—は 川舟

夏夜の一文書かきしるる月の鏡すうやとくらん はな

玉葉の福所ふ備ふらと月とらりりしとては はな

らひふふふふふふふふふふふふふふふふ はな

雪のぬ月の衣中にくらふふふふふふふふ はな

老圃の詠集ふふふの信標さうらかり はな

けふふふ林の海老の海ふふふふふふふ はな

意の画ふふふふふふふふふふふふふ はな

ふふふふふふふふふふふふふふふふ はな

香のふふふふふふふふふふふふふ はな

けふふふふふふふふふふふふふふ はな

甲斐のふふふふふふふふふふふふ はな

秋

今

はな

はな

はな

はな

はな

はな

はな

はな

はな

はな

はな

はな

はな

はな

はな

はな

はな

はな

はな

はな

鹿

ふふふふふふふふふふふふふ はな

思ふふふふふふふふふふふふ はな

はなふふの病ふふふふふふふ はな

そふふふふふのふふふふふふ はな

ふふふふふふふふふふふふ はな

けふふふふふふふふふふふ はな

親ふふふふふふふふふふふ はな

むふふふのむふふふふふふ はな

ふふふふふふふふふふふ はな

お藤川せふふふふふふふふ はな

むふふふふふふふふふふ はな

秋

月

今

はな

はな

はな

はな

はな

はな

神の世の中をふむ月のうらむいからうはらう

月の春に人の心もさへあはれなる月の影をけりし世

うらむ世のうらむいなる月の影をけりし世

神かひは海もさへうらむとていひてうらむ世

のうらむ世のうらむいなる月の影をけりし世

神さへもたつたはさへうらむとていひてうらむ世

月のうらむ世のうらむいなる月の影をけりし世

かたの影をけりし世のうらむとていひてうらむ世

空の海もさへうらむとていひてうらむ世

月影の影をけりし世のうらむとていひてうらむ世

月影の影をけりし世のうらむとていひてうらむ世

月影の影をけりし世のうらむとていひてうらむ世

月影の影をけりし世のうらむとていひてうらむ世

月影の影をけりし世のうらむとていひてうらむ世

月影の影をけりし世のうらむとていひてうらむ世

月影の影をけりし世のうらむとていひてうらむ世

月影の影をけりし世のうらむとていひてうらむ世

月影の影をけりし世のうらむとていひてうらむ世

月影の影をけりし世のうらむとていひてうらむ世

月影の影をけりし世のうらむとていひてうらむ世

月影の影をけりし世のうらむとていひてうらむ世

月影の影をけりし世のうらむとていひてうらむ世

月影の影をけりし世のうらむとていひてうらむ世

山月

知用海

馬袴

言丸

美能

為宝

標好

如文

未下子

移香

形龜

後貴

出成

景枝

景枝

景枝

景枝

景枝

景枝

景枝

景枝

景枝

景枝

景枝

おのけいといし 同ふ月のまはらけいしはふくまへりし 望の山 友能

流はし月の桂のまのいひかたし 望の山 岳能

我うくはあつてのまはらけいしはふくまへりし 望の山 岳能

おのけいといし 望の山 岳能

かつてのまはらけいしはふくまへりし 望の山 岳能

おのけいといし 望の山 岳能

おのけいといし 望の山 岳能

おのけいといし 望の山 岳能

おのけいといし 望の山 岳能

おのけいといし 望の山 岳能

おのけいといし 望の山 岳能

浦月

若りのこもあつてふくまをけいしはふくまへりし 望の山 岳能

おのけいといし 望の山 岳能

月見

おのけいといし 望の山 岳能

おのけいといし 望の山 岳能

おのけいといし 望の山 岳能

おのけいといし 望の山 岳能

おのけいといし 望の山 岳能

嵐

おのけいといし 望の山 岳能

おのけいといし 望の山 岳能

野分

おのけいといし 望の山 岳能

おのけいといし 望の山 岳能

梓弓もくまの聖人も肘かう〜〜〜終や誓のほのきり七人 下れた 妻菊

杜風ふとぞ〜一層のまきわね〜ゆかしのめ〜と誓たう〜もろ 仙 岳恒

ハ朱槍の穂田う〜う〜穂よ〜筆穂のとうりか〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ 仙 珠持

茶の如きとて〜〜〜ゆのちきぬ月とす〜つ雪の雪の穂よ 下れた 冬雪

耳ゆ〜も〜も〜山〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ 下れた 物吉

白ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ 下れた 唐土

雪ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ 下れた 金珠

白ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ 下れた 吉友

ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ 下れた 美兒

ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ 下れた 光若

ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ 下れた 茂子

穂よ

下れた

後

今

今

西のゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ 山 山守

ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ 風 風好

穂人のゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ 板 美若

穂菊のゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ 美 美若

人ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ 秋 秋好子

ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ 丹 丹若

ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ 赤 赤若

ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ 花 花友

ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ 大 大若

ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ 妻 妻若

ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ〜ゆ 後 後若

相撲

今

今

今

今

今

今

重湯

今

昔よりいふところの湯をいふ事とまことの湯とをいふ事と
梅城

菊

昔の秋菊もらうたをいふ事とまことの秋菊とをいふ事と
後日作

昔よりいふところの湯をいふ事とまことの湯とをいふ事と
古く

昔よりいふところの湯をいふ事とまことの湯とをいふ事と
余

橋

昔よりいふところの湯をいふ事とまことの湯とをいふ事と
友影

昔よりいふところの湯をいふ事とまことの湯とをいふ事と
橋

昔よりいふところの湯をいふ事とまことの湯とをいふ事と
芳彦

昔よりいふところの湯をいふ事とまことの湯とをいふ事と
花嫁

昔よりいふところの湯をいふ事とまことの湯とをいふ事と
信安

昔よりいふところの湯をいふ事とまことの湯とをいふ事と
吉原

喜

昔よりいふところの湯をいふ事とまことの湯とをいふ事と
橋

昔よりいふところの湯をいふ事とまことの湯とをいふ事と
物集

昔よりいふところの湯をいふ事とまことの湯とをいふ事と
子集

昔よりいふところの湯をいふ事とまことの湯とをいふ事と
輝子

昔よりいふところの湯をいふ事とまことの湯とをいふ事と
廣生

昔よりいふところの湯をいふ事とまことの湯とをいふ事と
廣紀

昔よりいふところの湯をいふ事とまことの湯とをいふ事と
古備表

昔よりいふところの湯をいふ事とまことの湯とをいふ事と
久根

昔よりいふところの湯をいふ事とまことの湯とをいふ事と
寛高

昔よりいふところの湯をいふ事とまことの湯とをいふ事と
美佐

昔よりいふところの湯をいふ事とまことの湯とをいふ事と
新後

昔よりいふところの湯をいふ事とまことの湯とをいふ事と
奉明

秋田

今

考

今

考

今

今

今

うつらとていふも合ふふもあはれもたゞ極めてくれあはれの小田 大陸 有文

目のかげとて目のうらやむいとちりちりくも田舎のりもさねおまはりた 江中時 有文

中くふ原のうらやむの海都のきよはたのきやーさりたり 山 元来

夕暮の海よりあつた影まの田の穂もさやけりなり ふさな 冬

牛尾山麓の山もろくも草うらやむらむらゆはまん ふさな 冬

ゆめをうらやむのさひくさえさくもやとておまをなれ ふさな 冬

もつしのさひくさえさくもやとておまをなれ ふさな 冬

ふさな ふさな 冬

ふさな ふさな 冬

ふさな ふさな 冬

ふさな ふさな 冬

茸持

曉秋

暮秋

今

今

今

俳諧歌芋環集卷之四

冬

初冬

枝のよけふつらげねをさかしくさかすか思へり人 後旗

さかすかの物影のよありきいづらん後旗

さかすかの物影のよありきいづらん後旗

さかすかの物影のよありきいづらん後旗

さかすかの物影のよありきいづらん後旗

さかすかの物影のよありきいづらん後旗

さかすかの物影のよありきいづらん後旗

さかすかの物影のよありきいづらん後旗

さかすかの物影のよありきいづらん後旗

初日

こきりの名なりけり雪のまろねもわろもとのさかしのけり 後旗

こきりの名なりけり雪のまろねもわろもとのさかしのけり 後旗

こきりの名なりけり雪のまろねもわろもとのさかしのけり 後旗

こきりの名なりけり雪のまろねもわろもとのさかしのけり 後旗

こきりの名なりけり雪のまろねもわろもとのさかしのけり 後旗

こきりの名なりけり雪のまろねもわろもとのさかしのけり 後旗

こきりの名なりけり雪のまろねもわろもとのさかしのけり 後旗

こきりの名なりけり雪のまろねもわろもとのさかしのけり 後旗

こきりの名なりけり雪のまろねもわろもとのさかしのけり 後旗

こきりの名なりけり雪のまろねもわろもとのさかしのけり 後旗

こきりの名なりけり雪のまろねもわろもとのさかしのけり 後旗

春

こきりの名なりけり雪のまろねもわろもとのさかしのけり 後旗

藤条園

今

於香のさうりかしの風の樹よりさむしつやむく暇もみ紫うら

紫葉

あぐの葉とてさむしつやむく暇もみ紫うらりまの山風

山風

おしのさむしつやむく暇もみ紫うらりまの山風

梅枝

梅のさむしつやむく暇もみ紫うらりまの山風

梅枝

梅のさむしつやむく暇もみ紫うらりまの山風

梅枝

梅のさむしつやむく暇もみ紫うらりまの山風

梅枝

梅のさむしつやむく暇もみ紫うらりまの山風

梅枝

梅のさむしつやむく暇もみ紫うらりまの山風

梅枝

梅のさむしつやむく暇もみ紫うらりまの山風

梅枝

梅のさむしつやむく暇もみ紫うらりまの山風

梅枝

梅のさむしつやむく暇もみ紫うらりまの山風

今

梅のさむしつやむく暇もみ紫うらりまの山風

今

梅のさむしつやむく暇もみ紫うらりまの山風

今

梅のさむしつやむく暇もみ紫うらりまの山風

今

梅のさむしつやむく暇もみ紫うらりまの山風

今

梅のさむしつやむく暇もみ紫うらりまの山風

今

梅のさむしつやむく暇もみ紫うらりまの山風

今

梅のさむしつやむく暇もみ紫うらりまの山風

今

梅のさむしつやむく暇もみ紫うらりまの山風

今

梅のさむしつやむく暇もみ紫うらりまの山風

今

梅のさむしつやむく暇もみ紫うらりまの山風

今

梅のさむしつやむく暇もみ紫うらりまの山風

梅

梅

梅

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

梅枝

水考

今

つむぎもたけの煙草かづらあましなひちまゆりれんげをそと

大
煇交

手ひもさぬのうねはりの浦をむむづのうせのむらさけ

全
春の

かこら茶のさつうゆせとまとうとつゆのまき葉もあつ川

籠
浦船

とつるのうらたせとつるをなせうん流のね藤と藤香うら

手
中倉

そのの尻をやめの流とつるのまらなをなを揃とつるの地母

母
本居

水考

よんとある人さうさこはなりのまきとつとつとつとつとつとつ

収成

味と背の山のなやふらなる人なると川よとつるのむつとつとつ

収
立務

立田川とつるあつるの経うとつるのうせの中やとととと

総
女

水考

ゆりねのなをうらたせとつるのうせの中やとととと

年
千生

さうらのゆらうかののうせの中やとつるのうせの中やとつる

年
廣峯

ふらふらのうらたせとつるのうせの中やとつるのうせの中やとつる

輝
撰

水考

形本とつるのうらたせとつるのうせの中やとつるのうせの中やとつる

い
り

はなはなはなはなはなはなはなはなはなはなはなはなはなはなはな

苗
穂

よまゆらとつるあつらつとつるあつらつとつるあつらつとつるあつらつ

穂
穂

そららのまきとつるあつらつとつるあつらつとつるあつらつとつるあつらつ

夜
宴

まじらつとつるあつらつとつるあつらつとつるあつらつとつるあつらつ

今
赤舟

水考

あつらつとつるあつらつとつるあつらつとつるあつらつとつるあつらつ

天
志枝

ほつらつとつるあつらつとつるあつらつとつるあつらつとつるあつらつ

穂
人

あつらつとつるあつらつとつるあつらつとつるあつらつとつるあつらつ

後
権

あつらつとつるあつらつとつるあつらつとつるあつらつとつるあつらつ

全

水考

あつらつとつるあつらつとつるあつらつとつるあつらつとつるあつらつ

後
権

あつらつとつるあつらつとつるあつらつとつるあつらつとつるあつらつ

年
白

應時

雲の太法師と人と大なるこのはぬまの

梅明

林

おかしんけののらるる雲の早ね精小

後精

それ雲のりしん

舎

岸

今

空をりり来て人と人千意つらん

深好

節まさらかひしよ

精丸

そのはゆめかへん

山竹

若人のあつる中

甘小

深山より御うき

飯成

若のぬをりて人

吉彦

様ゆさあひも

江吉

堂

今

ちんちん

雲

唐のあつる

雲

雲のあつる

英休也

深山ぬま

矢丸

おかしんけ

神明

若川や枯

百縁彦

このあつる

大城

おかしんけ

清城

おかしんけ

繁彦

おかしんけ

安彦

おかしんけ

千彦

おかしんけ

千代彦

後重

言らぬわがのうらみ... 市島 権
 かつら... 権
 津つら... 文集
 りて... 権
 ぬき... 権
 九... 権
 あ... 権
 お... 権
 権... 権
 つ... 権
 ぬ... 権

積重

室見

難... 権
 津... 権
 舟... 権
 む... 権
 わ... 権
 あ... 権
 初... 権
 裾... 権
 る... 権
 後... 権

後

今... 権
 後... 権
 村... 権

早梅

今

野のうらふしと梅の枝居る舞よりも粒あはれもあはれ切着 大 奉明

清きと梅の心はわらわらしくあはれなまらしく梅の心 仙 香後

梅の心もあはれなまらしくあはれなまらしく梅の心 尾 昌枝

幸のうらふしと梅の心 仙 昌村

幸もあはれなまらしくあはれなまらしく梅の心 天 中堂

下はあはれなまらしくあはれなまらしく梅の心 天 彰明

下はあはれなまらしくあはれなまらしく梅の心 在 明葉

下はあはれなまらしくあはれなまらしく梅の心 在 任茶

下はあはれなまらしくあはれなまらしく梅の心 在 令底

下はあはれなまらしくあはれなまらしく梅の心 在 兼魚

下はあはれなまらしくあはれなまらしく梅の心 在 隆貴

春

今

あはれなまらしくあはれなまらしく梅の心 今

あはれなまらしくあはれなまらしく梅の心 岳 任

あはれなまらしくあはれなまらしく梅の心 岳 下成

あはれなまらしくあはれなまらしく梅の心 岳 教

あはれなまらしくあはれなまらしく梅の心 岳 鷹臣

あはれなまらしくあはれなまらしく梅の心 岳 系

あはれなまらしくあはれなまらしく梅の心 岳 令底

あはれなまらしくあはれなまらしく梅の心 岳 厚紀

あはれなまらしくあはれなまらしく梅の心 岳 系

あはれなまらしくあはれなまらしく梅の心 岳 明

あはれなまらしくあはれなまらしく梅の心 岳 系

茶市

茶市

あはれなまらしくあはれなまらしく梅の心 岳 系

退儼

今

~~~~~

小鳥

~~~~~

松林

志はる

紫雲

~~~~~

純人

~~~~~

梅の

~~~~~

若福

~~~~~

安之由

~~~~~

海に

~~~~~

松條

~~~~~

廣石

~~~~~

持魚

~~~~~

朱櫻

俳諧歌芋環集卷之五

戀

初恋

~~~~~

群子

~~~~~

千丈

思恋

~~~~~

新成

~~~~~

浦子

初恋

~~~~~

物象

~~~~~

若好

~~~~~

暗さ

蘭葉

~~~~~

若好

~~~~~

若好

福海の枯ふかし入抄のあはれやむの人のうらうら

初夢のうらうらと夢のあはれは人のうらうらと夢のあはれ

梅のあはれは人のうらうらと夢のあはれは人のうらうら

梅一枝のうらうらと夢のあはれは人のうらうら

一枝のうらうらと夢のあはれは人のうらうら

梅まきん梅のうらうらと夢のあはれは人のうらうら

あつたのうらうらと夢のあはれは人のうらうら

あつたのうらうらと夢のあはれは人のうらうら

梅のうらうらと夢のあはれは人のうらうら

あつたのうらうらと夢のあはれは人のうらうら

あつたのうらうらと夢のあはれは人のうらうら

あつたのうらうらと夢のあはれは人のうらうら

あつたのうらうらと夢のあはれは人のうらうら

あつたのうらうらと夢のあはれは人のうらうら

あつたのうらうらと夢のあはれは人のうらうら

あつたのうらうらと夢のあはれは人のうらうら

あつたのうらうらと夢のあはれは人のうらうら

あつたのうらうらと夢のあはれは人のうらうら

あつたのうらうらと夢のあはれは人のうらうら

あつたのうらうらと夢のあはれは人のうらうら

あつたのうらうらと夢のあはれは人のうらうら

あつたのうらうらと夢のあはれは人のうらうら

今

夏

種彦

雲水

久根

笑丸

ふ枝成

生波

千高

あふ池

夏彦

二葉

英別

秀旭

綾字

祥物

藤景

綾枝

友影

安尾

吉道

後日作

昌佑

社彦

高瀬の川に... 秋 父 三つ女

静かな川に... 源 島

水の白き川... 彦 彦

水なほ清き川... 生 知

うらやま川... 流 糸

川の清流... 流 糸

我が川... 光

せうらと... 三 條 橋

舟よ... 流 糸

程の流... 知 信 家

わが川... 名 命

程の日... 流 糸

りうに... と 々 々

流る川... 娘 彦

わが川... 中 明

わが川... 彦 彦

意の川... 彦 彦

そなた... 彦 彦

待徒... 彦 彦

たの川... 彦 彦

この川... 彦 彦

秋 彦

今

今

今

あまのついでに... 糸

あまのついでに... 糸

あまのついでに... 糸

あまのついでに... 糸

あまのついでに... 糸

あまのついでに... 糸

あまのついでに... 糸

あまのついでに... 糸

あまのついでに... 糸

あまのついでに... 糸

あまのついでに... 糸

あまのついでに... 糸

あまのついでに... 糸

あまのついでに... 糸

あまのついでに... 糸

あまのついでに... 糸

あまのついでに... 糸

あまのついでに... 糸

あまのついでに... 糸

あまのついでに... 糸

あまのついでに... 糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

糸

仍志

仍のまゝに教をいはらるるまゝに後をぬきと 干よ

わらわはさきの山姥おまへにまをせよとせらるるれをり

魂衣

仍やまゝに月日とて月や帰らるるの時をりやめり扱

抄

わらわのまをせよとせらるる人の為我らふまをせぬのう

苦惱

爰志

今うけふ心のうらやな人のまをせぬ月のあまのむしき

若虎

まをせられたるまをせぬ人のまをせぬのれをり

美佐

まをせられたるまをせぬ人のまをせぬのれをり

後糖

まをせられたるまをせぬ人のまをせぬのれをり

杖煙

まをせられたるまをせぬ人のまをせぬのれをり

古兎

まをせられたるまをせぬ人のまをせぬのれをり

廣石

まをせられたるまをせぬ人のまをせぬのれをり

松香

頭志

世の人の用ふるる月日とて月や帰らるるの時をり

魂衣

わらわのまをせよとせらるる人のまをせぬのれをり

物明

わらわのまをせよとせらるる人のまをせぬのれをり

唯雪

わらわのまをせよとせらるる人のまをせぬのれをり

倉井

わらわのまをせよとせらるる人のまをせぬのれをり

金城

わらわのまをせよとせらるる人のまをせぬのれをり

物純

わらわのまをせよとせらるる人のまをせぬのれをり

若虎

わらわのまをせよとせらるる人のまをせぬのれをり

小松

標志

わらわのまをせよとせらるる人のまをせぬのれをり

群字

わらわのまをせよとせらるる人のまをせぬのれをり

純人

わらわのまをせよとせらるる人のまをせぬのれをり

鎌倉

陽志

今

川舟
 千松 仙臺松山
 舟紫 飯味
 雲山
 美佐
 千丈
 美好
 藤虫 小
 美條 徳高
 梅色
 古華 下下取

架志

悟志

久悲

奇山悲

今
 綾帷 不吉巻
 舟表 仙臺深川
 為宝
 素風家
 弘色 若谷
 美佐 天香
 年橙
 綾帷 律
 梅色
 綾帷 律

青井忠

身代のついでに... 千代

青井忠

沼へまわした車井の... 解子

青井忠

統へまわした人の... 物集

物集の統へまわし... 千代

物集の統へまわし... 千代

青井忠

本屋の統へまわし... 千代

青井忠

物集の統へまわし... 千代

物集の統へまわし... 千代

青井忠

物集の統へまわし... 千代

俳諧歌草環集卷之六

雜

辨

わが心なきはなすのしづかなきまのさかしのはなす

うはらふはなすのしづかなきまのさかしのはなす

ひとよき世を極むるしづかなきまのさかしのはなす

よ人のよき世を極むるしづかなきまのさかしのはなす

はなすのしづかなきまのさかしのはなす

はなすのしづかなきまのさかしのはなす

大なる平より極むるしづかなきまのさかしのはなす

合言も極むるしづかなきまのさかしのはなす

はなすのしづかなきまのさかしのはなす

よを村とんやせかへてる月の桂の影をうらむるしづかなきまのさかしのはなす

柳うらむるしづかなきまのさかしのはなす

人も世も極むるしづかなきまのさかしのはなす

まがもつらふらうらむるしづかなきまのさかしのはなす

まのやによなきはなすのしづかなきまのさかしのはなす

はなすのしづかなきまのさかしのはなす

花結ぶよきまのさかしのはなす

なつ月本のむらふまはなすのしづかなきまのさかしのはなす

人ともつかひなきはなすのしづかなきまのさかしのはなす

まの川をくわはなすのしづかなきまのさかしのはなす

田家

山家

古巻

千代

後修

後修

後修

後修

後修

後修

後修

東修

東修

東修

東修

東修

東修

東修

東修

東修

東修

東修

大坂 春島

大津 月夜

大津 利権

大津 利権

大津 吉備表

大津 平権

大津 権

大津 権

大津 権

大津 権

大津 権

大津 権

大津 権

大津 権

大津 権

大津 権

大津 権

大津 権

大津 権

世少故車

賢子意新舊君

檀柯園滋見

檀園集佳

少之居於卷門

篆篆字劫劫此

文園千束

南向書笑波

神垣內後學

漣屋平權

樞園全美好

紫之字綠青

世少故車

世少故谷

佳日底純人君

眠純堂珠丸

金粉全前紫

峰月字去園

炳明梅秀旭君

百中字苦香

水花園破品

山画字高見

浮泉全甚吉

浮島結

吳明園後子君

與書伴

世少小月

物尾是坡

物

鏡羽

世少和步

孫芬園美條

楊柳令德丸

篆壽庵龜後

梅雨字字字

龍田令山角

一心全唯字

山河堂古備表

榻下意系繁

落庭字集波

曲水園千交

版峰字字字

世少谷步

系

世少夏牧

世少和川

世少足骨

世少武款

旁寸令七人

薰字全風

字吟社備德

另葉字劫香味

其系庵腐的

案屋後繁

武少小川

田字寒梅見
有海字年保

古柳水干候

懸全堂光輝

遊日庵綾魚

露日庵菘成

杏子坊繼成

杏西屋龜斷

松之園子夷

岩嶺全古房

中川舍

武少山形

上毛下仁田

濃少波阜

武少小川

武少小川

武少小川

下松古谷

武少兄弟

丘五堂字室
蜀園菖

臺凌字松也命

典園群鈴

福煙字系秤

納屋酒紫

貢物統

一臺字敷等

適官久壽一峯

茨西屋花妻

菊堂字金來

糖堂字離子代

雀踊字井村

松月字古菴

室松居古近

給麻の屋美津丸

園字堂書交

紀忠彰丸

神種庵務典

笑譽字美次

信朝堂武暉

武少堂

武少堂

武少堂

甲府

武少堂

下松古谷

上毛飯林

武少堂

武少堂

武少堂

美屋字梅近

那珀園清根

秋籬字菊成

松梅字為人

捨息庵文舍

隆安

隆河園陸洲

秋玉字知義

角の屋絲繁

山栢字小瓶

栗洞

武少小川

武少四市

武少堂

武少堂

武少堂

武少堂

武少堂

武少堂

紫存白将

栗皮

全

栗峰

濃水改草

水空字松流

勢少身田

漆々園芳丸

勢少補流

煎茶字法風

勢少屏

芦の屋津芳丸

下毛朽木

旭照庵板本

勢少種高

澤市館後沙

信少下平尾

堀の屋内人

勢少種高

杉の屋

信少下堀系

森澤字芳葉

勢少種高

番院窓水清

白 将

殊死画蒼人

白 将

栗園

寄折園枝豆

勢少久辰

梅の屋美代丸

福 吉近

勢少堅園

靴 西院近

麻中庵虫丸

勢少大福

此 寄徳家

香茶園子代浪

勢少八幡

堅茶字日佐枝

香のや津島丸

勢少八幡

香のや佐人

信少堀名田

千由字美沙

勢少堀名田

舟の屋千友

信少弘勢

答先全済園

勢少聖賢

四卷庵甚楽

美少白川

菊川字恒香

武少小川

梅 園甚織

上毛七市

梅のや 甚

勢少梅波

八 里字美

檀 園雅持

勢少梅波

鏡前堂杉五

神筑園後流

勢少梅波

田井字紺丸

一 農屋美屋

勢少梅波

燕栗園千頼

槌の屋可富老

勢少梅波

觀松堂法新

海 庵平尊

勢少梅波

巨槌庵甚成

英通恒久権

勢少梅波

滝梅堂丘人

香 庵長権

勢少梅波

茶の屋經来

信少弘勢

上毛被林

勢少梅波

茶の屋經来

上毛根

蘿の屋布子

修上四

樹 尾南信

僊遊字菊丸

記後態本

赤日尾後根

蘭中坊猿史

記後態本

古今字

苔 烟 忌 女

記後態本

山秋字任人

集志近風

古風字今容

一

夕酒樓山入

集志抄寫

草種園菊系筋

撰書法草

一 帆字惹丸

集志抄寫

花 恒 生 咲

撰書法草

東紅園子明

銀杏字滿門

撰書法草

菊雪屋花琴

曲 松 尾 室 樹

撰書法草

澹花字志室

仙 家 綺 丸

撰書法草

清石字菊丸

衾 板 任

白 抄

栗溪

集志抄寫

夜風 板 任

撰書法草

其柳園千葉

集志抄寫

五 湖 園 廣 池

撰書法草

和歌其園千晴

亦 菓 尾 易 土 丸

撰書法草

菊明堂丹芽

玉 梅 字 新 安

撰書法草

金 葉丸

芥 梅 架 味 丸

撰書法草

秋菊恒鞠人

九 智 子

撰書法草

秋芥字風原卷

菜 柳

撰書法草

南陀樓好生

是 絲 字 若 根

撰書法草

俳世阿安是

紫 の 門 雛 呂

撰書法草

南園堂麻任

久 象 屋 新 石

撰書法草

菊の也保信吳

二 籠 子 籠

撰書法草

白系園續勝

下總住命

撰書法草

撰書法草

常山 卷之三

上毛 卷之四

山推金碧堂
東照亭慶福藏

江分武部
江分仁部

靜々亭瓜棚
招の木波二

新青橋高華
青晴亭園海

三谷 卷之二
四下

等 恒墨子
桂甫

五帝園吳智樂
緑枝園若紫

橋分 卷之二

卅五橋等丸
辰拜園出若

照日庵里任
篠 玉浦

橋分 卷之二

五葉亭橋丸
平日庵後如

紫翠園李柳
松雲園千鶴

橋分 卷之二

新有亭海雪
五葉亭雪乳

演如亭乙内
網結橋散庭

橋分 卷之二

森原亭草葉
梅溪亭出雲

梅 印亭 石居

白 柳

香江亭芦舟
本の如

石 氏子

橋分 卷之二

墨の井尾紀
永日庵後美

後新橋自出曉
梅月亭自然

下毛 卷之四
下

花西美人君
青丹園常樹

仙光庵若野
瓢山人夢雪

下毛 卷之四
下

松永館元亮
玉々園 貴

窓後亭和雪
雪花庵古松

橋分 卷之二

筑波 峰義
軍自亭雪雄

雪柳美水

橋分 卷之二

柳の本門雪如

武分 卷之二
下
下
下

帝 庵 玄 丸

久 丸

豊 栄 末 丸

夷 晴 宇 光 長

株 交 梅 花 増

瀑 市 宇 千 巻

候 彦 伊 風

柳 枝 宇 林 宇

白 紙 西 長 廣

有 垣 吉 清

玉 兎 橋 翁 丸

松 枝 宇 永 史 知

蓬 萊 園 考 釋

夷 日 庵 後 枝

後 集 他 若 次 位 子 日

朝 日 園 基 明

梅 香 園 守 迹

月 西 門 秋 吹

清 園 為 寶

佐 藤 道 明

峯 玉 秋 子

香 滿 屋 甚 枝

子 柳 宇 綾 彦

再 葺 庵 宇 煉

武 藏 聖 廣 紀

株 藝 宇 日 以 明

夷 日 庵 甚 雅

熊 谷 庵 市 成

亦 甚 屋 宇 表

瑞 垣 千 古

柳 葉 庵 藤 翁

乞 乞 道 晴 人

柳 古 園 守 人

梅 葉 宇 宇 史 知

皇 和 宇 宇 史 知

臨 日 庵 綾 彦

松 西 門 久 根

辛 垣 廣 石

柳 史 園 知 風 流

西 村 伊 藤 宇 宇 史 知

棟 西 門 花 兒

五 口 金 口 丸

新 玉 園 甚 門

万 古 考 の 屋 排

武 藏 聖 廣 紀

武 藏 聖 廣 紀

濃 分 草

常 分 草

系

系

系

藤 州

濃 分 草

上 毛 宇 史 知

大 垣

山 古 也

系

系

武分合子

英魁子好文

漢分合

所也屋林好

漢分合

榻西屋子枝成

行分合

松秀園拙古

武分合

丹龔亭英石

漢分合

恭全素英石

漢分合

柳系棠樹

漢分合

松系園之標榜

漢分合

一碧嶺丸

漢分合

一指亭後見

漢分合

蘇生庵能解

漢分合

峰月亭山字序

漢分合

笑花亭妻愛

漢分合

松山亭嶺子

漢分合

書扇亭羅丸

漢分合

書雨亭嶺表

漢分合

別園

漢分合

山亭亭江甚

漢分合

南星居軒

漢分合

崇星亭千尖

漢分合

海澄園清林

漢分合

海也屋大株

武分合

千松庵小

漢分合

九

業分合

仰山亭

業分合

文錫林景新

業分合

深菴園有松

業分合

深樹園元有

業分合

松庵亭記

業分合

深松亭記

業分合

新篁亭

業分合

松園

業分合

秋也屋

業分合

松園

業分合

清靜亭

業分合

松園

業分合

風明亭

業分合

棟園

業分合

金德樓

業分合

四亭

業分合

深美樓

業分合

生知

業分合

望井園

業分合

松園

業分合

穎川亭

業分合

文机亭

仙臺古川

千洋亭雅出持

柳菴亭重光

仙臺松山

子留亭千留

澄水亭本

自岐山月波

仙臺松山

柳菴亭雅出持

松菴亭重光

英菴亭有美

仙臺松山

蓬萊亭重光

下毛麻原

松利亭吉明

仙臺松山

榮松内秋實

科山天香

文彩亭吉明

仙臺松山

小松の口竟高

大坂

其轉園松原

仙臺松山

常盤園松守

深田寺松

春園松丸

仙臺松山

即日園照起

深田寺松

素亦の松清風

仙臺松山

松月亭彰明

名古也

龍屋松雄

仙臺松山

異高臺知

仙臺松山

松谷亭明居

仙臺松山

松系園松久

仙臺松山

松崎園明業

仙臺松山

松系園明業

仙臺松山

松崎園明業

全



大坂

花の屋築丸

大坂

玉露園秋光

大坂

羅浮館夢也

仙臺松山

雪井樓松文

仙臺松山

松系園元集

仙臺松山

月之庵長丸

仙臺松山

玉露園瑞々

仙臺松山

松系園松文

仙臺松山

松系園夜宴

仙臺松山

松系園松文

仙臺松山

松系園夜宴

仙臺松山

松系園松文

仙臺松山

松系園夜宴

仙臺松山

松系園松文

仙臺松山

松系園夜宴

仙臺松山

松系園松文

仙臺松山

松系園夜宴

仙臺松山

松系園松文

仙臺松山

松系園夜宴

仙臺松山

松系園松文

先少

曉月軒浦和

松下字茂子

玉兔園月波

宇治の厚文集

蒙月亭一瓢

靜海園廣長

靜字園莫兒

亦園廣長

靜氣園序長

法の心哉丸

亦の心哉成

亦の園管藤

東遊園形明

字無半つく

松月屋字代延

交湖全恒序

梅の本恒泰

干進樓花崎

系自

別室古與子

跡菊園和子

獨梅柳福子

氏名登要

龍吟社廣長

松長

春木園重女

小倉庵金鏡

松月庵久子

波連樓和良

吾意園敏恒

香月軒笑の室

紫園深好

玉園光茂

靜於園振成

相下園正義

梅の心書

豊堂庵載去

甘島庵重進

豊 伊波深

篠 今可勢岐

光 字錫丸

測 屋 進

推 家弘道

大久保函女

別の心書丹

柳湖亭字聖長

人字於十重女

揮筆柳清子

瀧日庵重長

尾名登備
富四

今

筆名登留

下毛栢木

奥分仙臺

今

尾名登備

上松麓谷

筆名登留

下毛栢木

奥分仙臺

今

今

甲分市川

下毛字新宮

翠葉園 生席

尾分大所

前川 金史

尾分大所

指 元 水 池

尾分大所の

源 波 産

尾分大の

文 秀 堂 利 権

秩父

千代のやまのめ

秩 父

千 秋 子 清 女

秩父堂上

子雲庵 美昌

栗山交小山

翠 雀 の 也 秀 堂

栗山交小山

紅梅の屋 五百代

下毛 柘木

梅 月 堂 文 則

下毛柘木

訓 恒 賢

下毛 西方

別 堂 亭 邦 守

下毛 西方

別 巖 臺 茂 村

下毛 今泉

別 源 園 美 名 井

尾 分

完 兼 法 師

上毛 銘木

梅 崎 亭 村

上毛 銘木

櫻 の 屋 登 枝

上毛 銘木

比 呂 丸

上毛 銘木

金 條

上毛 今村

候 々 富 兎 王

上毛 今村

柳 村 活 素 風 家

上毛 今村

柳 義 園 芳 風 家

上毛 今村

柳 源 亭 後 風 家

上毛 今村

櫻 園 光 邦 久

上毛 今村

花 の 門 光 口

上毛 今村

松 園 光 枝

上毛 今村

玉 鬘 梅 好

上毛 今村

緑 経 園 道 守

上毛 今村

緑 源 園 美 名 井

上毛 今村

緑 園 生 史

上毛 今村

緑 紅 園 後 史

上毛 今村

経 河 園 於 紅

上毛 今村

緑 海 園 百 紅

上毛 今村

緑 林 園 古 雄

上毛 今村

緑 松 園 有 文

上毛 今村

千 柳 庵 深 好

上毛 今村

柳 毫 亭 生 任

上毛 今村

柳 一 園 雪 若

上毛 今村

千 瓢 亭 子 益

上毛 今村

柳 秋 亭 後 年

上毛 今村

柳 菴 亭 後 年

上毛 今村

柳 峰 亭 拙 表

上毛 今村

子 衣 亭 産 後

上毛 今村

大 勢 館 子 雨 表

上毛 今村

菴 院 子 雨 表

仙 卷

一 二 庵 寺 内

仙 卷

千 箱 庵 寺 内

今 古 川

大 橋 寺 天 年

今 古 川

柳 橋 寺 輝 海

下 毛 館 本

折 簀 寺 可 笑

常 寺 照 燈

綠 玉 園 樓 堂

上 毛 館 本

高 子 内

上 毛 館 本

赤 友 園 子 代 表

上 毛 館 本

松 橋 園 梅 絲

上 毛 館 本

江 原 寺 別 出

下 毛 館 本

荒 井 園 寺

上 毛 館 本

都 折 園 寺 安

下 毛 館 本

通 陸 園 奉 成

上 毛 館 本

堂 寺 井 寺 水 西

下 毛 館 本

柳 另 寺 山 徑

上 毛 館 本

真 寺 屋 靜 雄

半 寺 觀 毛

仰 下 寺 卷 風 家

上 毛 館 本

本 寺 通 寺 堂 人

下 毛 館 本

五 兔 橋 秋 寺

上 毛 館 本

卜 念 入 下 子 成

下 毛 館 本

石 日 園 岩 堂

上 毛 館 本

山 家 聲 任

上 毛 館 本

花 下 寺 居

上 毛 館 本

山 家 聲 任

上 毛 館 本

秋 園 雙 亦

上 毛 館 本

古 樹 庵 一 雅

下 毛 館 本

四 季 寺 山 和 响

上 毛 館 本

梅 樹 園 寺 芳

上 毛 館 本

東 寺 卷 美 堂

上 毛 館 本

花 寺 家 美 堂

下 毛 館 本

東 寺 卷 美 堂

上 毛 館 本

梅 林 寺 卷 美 堂

下 毛 館 本

東 寺 卷 美 堂

上 毛 館 本

梅 林 寺 卷 美 堂

武 寺 三 川

可 成

上 毛 館 本

雪 月 庵 古 路

上 毛 館 本

東 林 寺 山 貞

上 毛 館 本

瓢 寺 卷 美 堂

日 光

傳 自 庵 料 里

日 光

東 寺 卷 美 堂

上 毛 館 本

梶 原 廬 五 泉

日 光

天 籟 子 歌 程

上 毛 館 本

万 室 樓 亦 樂

上 毛 館 本

山 下 寺 双 樹

上 毛 館 本

双 雀 庵 子 代 成

上 毛 館 本

兔 野 寺 卷 美 堂

下松里

学 金子也

自の屋柱落

折京園後風

文 恒志子

経産産箱軒

其口屋岳徑

岩煉産龜成

臨日産後魚

那野林日修真

可室字持吉

南園産露味

南園産産色

植古京園

岩洲社融蘇

出世園其徑

其華字甘史

一心字唯也

自の友也

那也恒日修尾

空花産古後

若子橋産色

其折園清徑

南在産美雄

青樹園新後

常山日

小舟のり静枝

下毛字也

松野園梅雄

栗山天概

其多橋産山

栗山天概

星莊園呂茶

常山天谷

緑夢園疎雲

下毛字也

其眠字花曉

栗山天系

其美尾後笑

仙意吉川

其自堂字也

仙 産

折京字後成

仙意吉川

其折京字恒美

仙 産

干松山人干松

仙意吉川

其自岬美蜀

仙 産

深遠塾赤下子

仙意吉川

其自岬美蜀

武部金子

坂 年 其吟

上毛板本

瑞 茶 園 新 後

武部金子

坂 年 其吟

上毛板本

瑞 茶 園 新 後

武部金子

坂 年 其吟

上毛板本

瑞 茶 園 新 後

武部金子

坂 年 其吟

上毛板本

瑞 茶 園 新 後

上毛飯林 今の戸廣繁 今 扇の戸心

下毛屋宇 清の心多美 下毛屋宇 扇の心多代明

鏡野野田 梅林今多美 下毛屋宇 禮の多政本

仙香 柳深庵静美 奥山梁川 森唐多森堂

大坂 松園榮枝 大坂 有紋殊福雄

今 峰長 今 笑の心梅丸

今 三省字空 今 蕪野の心美能

今 猿の心空丸 今 松松園久响

今 松咲庵梅成 今 洗心堂雪伴

今 櫻花園美代也 今 相空狂好

今 翠園美可 今 膝の心清新

今 新井園風好 今 那月庵物根

今 星山庵僕成 下毛屋宇 甘泉堂景秀

今 古扇屋季尋 濃谷谷谷 松谷字巴使

今 醜美字茂樹 濃谷松谷 自那庵多破写

今 浅深堂久清 行山堂 臺松梅市之隆

今 梅の心久豆 上毛屋宇 松 函元成

今 提灯今花好 今 梅香園龜徑

今 子高園千崎 今 仰武敏堂義隆

今 釋 貴秀 一久梅堂止

今 緑若園いし屋 和分半池 千種園一村

今 美の心和人 今 美葛屋星村

今 源風軒下彦 今 花の心裁五

和州天皇

彦扇亭

和州西下

和州西下

茶子

金上庵欠唐

番多梅雅則

一笑亭燕乐

前返梅貴香

旭

梅の門後好

早

日向之端

子梅金芳子

日向之端

和

全

金梅実

日向之端

瑞

濃水信年

三彦梅歌補

日向之端

百の金三子丸

三彦梅歌補

日向之端

青の園書

三彦梅歌補

日向之端

梅多梅若福

三彦梅歌補

日向之端

梅多梅若福

三彦梅歌補

日向之端

梅多梅若福

三彦梅歌補

日向之端

梅多梅若福

三彦梅歌補

日向之端

梅多梅若福

三彦梅歌補

日向之端

梅多梅若福

三彦梅歌補

日向之端

梅多梅若福

三彦梅歌補

日向之端

梅多梅若福

三彦梅歌補

日向之端

梅多梅若福

三彦梅歌補

日向之端

梅多梅若福

三彦梅歌補

日向之端

梅多梅若福

三彦梅歌補

日向之端

梅多梅若福

三彦梅歌補

日向之端

梅多梅若福

三彦梅歌補

日向之端

梅多梅若福

全 稻園光之

半以下後田 孫梅園花好

半以下後田 孫梅園香寒

半以下後田 孫葉園宋佳

半以下後田 孫梅園佳長

半以下後田 孫梅園菊成

全 孫子芳佳

全 柳汁庵深唯

全 火岩寺寺歌

全 木村友好

全 菴莊園幸如

全 山寺寺系唯

仙 子種園茂好

全 古川 志海權

全 上毛飯林 柳酒

全 赤 園民蔭

全 綠揚園知豆

全 孫後園吳山

全 小石川里佳

全 久の門梅良

全 明之館月法海

全 柳井園友好

全 雨雲高為菜

全 柳の厚光寒

全 森園光寒

全 孫英園花雪

全 孫圃園芳佳

全 孫泉園嵐山

全 柳集園友長

全 柳常園一樹

全 古松園二葉

全 菴眠寺安養

全 柳好庵小堂佳

全 柳因安貞

全 柳弄館玉雅

仙 柳瑞亭洋表

全 古川 輝海寺輝正

全 上毛飯林 冬笑屋鉄人

全 赤 緒要寺禿俊

全 綠揚園知豆 峰如亭香豆

全 孫後園吳山 柳亦亭亮鶴

全 小石川里佳 花の下日本城

全 久の門梅良 函回全鶴佳

全 明之館月法海 離園弘則

全 柳井園友好 可傳亭芳成

全 雨雲高為菜 寺 忌 義一

全 下毛小倉

全 柳分福系

全 下毛飯林

全 柳分福系

全 下毛飯林

全 柳分福系

全 下毛飯林

全 柳分福系

全 下毛飯林

全 柳分福系

全 下毛飯林

全 柳分福系

全 下毛飯林

全 柳分福系

全 下毛飯林

全 柳分福系

全 下毛飯林

全 柳分福系

全 下毛飯林

全 柳分福系

全 下毛飯林

全 柳分福系

全 下毛飯林

全 岩井水鏡

全 四喜奉廣信

全 扇函折如

全 夢の門於煉

全 敏行

全 廣の屋腫

全 夢の心世代別

全 嘉山赤人

全 花の取也

全 菊子橋高雄

全 夷恒益雄

全 世侗亨廣紀

全 文水堂高橋

全 明月庵輝任

全 海楽亭乙丸

全 操藝園榮子

全 英香館古棟

全 蒜の屋高村

全 聚甘堂廣長

全 東廬門風柳

全 柳盤亭恒美

全 担赤園子代表

全 見 岩上干則

全 三子画突也

全 通卷幸如

全 一二新声集

全 珠儿堂金文

全 如采堂世世

全 別審子 護

全 可笑 第九

全 見龍鏡 典

全 子日庵抄表

全 舞離子茂瓶

全 春平居活丸

全 柳練亭能子

全 笑翁堂朱亦

全 石川梅 興

全 廣徳若棟海

全 字の本能堂利

全 美学園若秀

全 山廬門範宏

全 真の屋文如

全 不溪堂水好

全 廣安寺尾

全 孫分天香

全 英水界部

全 仙卷清水川

全 琴水屋浦

全 上毛館其

全 下毛館其

全 英少忠

全 仙 卷

全 大 坂

全 全 見

全 三子画突也

全 通卷幸如

全 一二新声集

全 珠儿堂金文

全 如采堂世世

全 別審子 護

全 可笑 第九

全 見龍鏡 典

全 子日庵抄表

全 舞離子茂瓶

全 春平居活丸

全 柳練亭能子

全 笑翁堂朱亦

全 石川梅 興

漢方子ね

福のつ可矣

漢方子ね

甘香軒茶斗

今

権のや身深

今

加美良園持成

下毛油田

学の内門悟養

下毛西條

有甫

上毛沼田

松蕙橋梅直

沼田川四

園珠軒少変

今

深折園一五

下毛幸部

翠夢雲納瓶

浅川佐尾

悠々高松号

加美小松

如風令沢汲

河内名田

刷毛の家柳道

河内名田

洞の家古書

今持浦

某日園答茶

系

丹志園冷魚

今

号松軒聖成

今

丹室

今

心々高交鏡

今

素宜苑松條

今

狂歌身遊水

今

権平園真信

今

澹金素勢号

今

玉縁居安久乐

今

玉清号松魚

今

龍日庵鏡雄

安政三歲丙辰春發起

萬延紀元庚申中秋刻成

十二文園

麻友厚子



105

6262
30.3.14

春
書
館
藏

